

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年9月26日

1. 活動テーマ

<テーマ>

4歳児…葉っぱと砂の粘土で何ができるかな

<テーマ設定理由>

・秋の葉っぱや園庭の葉っぱが少し色づき始めたことに気付いた子がいたので、その葉っぱを使って活動をした。

2.活動スケジュール

・子ども達に園庭にある、自分の好きな葉っぱを何枚か集めてもらう。
 ・クラスに持ち帰りどんな葉っぱを持ってきたか見せ合う。
 「大きな葉っぱ」「つるつるの葉っぱ」「ふわふわな葉っぱ」「ハートの葉っぱ」など自分の見つけてきた葉っぱの様子をみんなに伝える。
 ・自分の見つけた葉っぱを観察してみる。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・一人ひとり、好きに選んだ葉っぱを入れる入れ物
 ・砂の粘土
 ・机の下に敷くシート

4.探究活動の実践

<活動内容>

・自分の気に入った木の葉っぱや、園庭に咲いているサルビア、あさがおなどのきれいな色の花びらを嬉しそうに集めていた。
 ・桜の葉っぱは少し色づき始めていたが、穴が開いていてあまり人気がなかった。
 ・好きな葉っぱということで、「見てこんな葉っぱあったよ」などと一人ひとりが嬉しそうにいろいろな形や大きさ、手触りが良い葉っぱを保育士に見せてくれる。
 ・部屋に戻って自分の集めた葉っぱの観察をする。触ったり、友達の葉っぱと大きさを比べてみたり、手触りの違いに気が付く子もいた。
 ・その葉っぱを観察している時に、砂の粘土を出してみた。
 ・砂の粘土に葉っぱを乗せたり、花を自由に使っている姿や子ども達の様子を見る。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・まずは自分の採ってきた葉っぱを観察したり、友達と見せ合いしながら葉っぱを見てみる。
 ・「どんな葉っぱ採ってきた?」「つるつるの葉っぱ」、「大きい葉っぱ」、「ふわふわ」「固い」「小さい」など自分の採った葉っぱの感想を教えてくれる。
 ・少し観察した後、「この前葉っぱと粘土使いたって言ってたけど今日使ってみる?」の問いかけに「使いたい」という声が聞こえて粘土を出す。
 ・砂の粘土を出すと団子を作って、大きな葉っぱで包んでみる子がいた。
 ・粘土に葉っぱを押し当てて、葉っぱをスタンプしてみる子がいた。
 ・葉っぱのスタンプをした後、葉っぱをとって「葉っぱの模様が見える。」と発見する子を見て真似してスタンプを楽しむ子がいた。
 ・葉っぱの裏でスタンプをしたり、表でスタンプしたり、茎の所でスタンプしたり、いろいろ工夫しながらスタンプをしていた。
 ・前回、枝を立てたがる子がいたが、今回も砂の粘土を使って枝を立てようとする子がいた。
 ・お花を採っている子がいて、「ピザ作った」「見てーカップケーキ」などいろいろな発想で素敵な作品ができた。

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・自分で好きな葉っぱを採ってきたので、もう少し葉っぱを観察する時間を長くすれば良かった。
 ・葉っぱや花と砂の粘土を自由に使って表現を始めたが、葉っぱを入れていた入れ物に砂の粘土を入れて、型抜きを始める子もいたので、粘土遊びになってしまうと思い、入れ物を回収して、粘土と葉や花を使って表現できるように対応した。
 ・以前のように、枝や葉っぱを立てたいという子も多く見られた。前は砂の粘土を触りながらなかった子どもも保育士と一緒に砂を固めて葉っぱを押し付けるなどして触っている姿が見られて良かった。
 ・葉っぱのスタンプをする子もいたので、空き箱より砂の粘土は木のトレーに入れた方が良かった。
 ・きれいな色の花も使うことで、「ピザ」「ケーキ」などと自分の作ってみたい物のイメージが付きやすいようだった。
 ・粘土に葉っぱを押し付けることで粘土に葉脈の模様がきれいに出ることを見つけた子どもがいた。次回はその様子も踏まえて「葉っぱのペンダント作り」も楽しめたらと思った。